

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公表番号】特表2013-532983(P2013-532983A)

【公表日】平成25年8月22日(2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-519620(P2013-519620)

【国際特許分類】

A 01 M 29/10 (2011.01)

A 01 M 29/08 (2011.01)

【F I】

A 01 M 29/10

A 01 M 29/08

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象動物が検知可能な波長範囲の光を供給する光源と、偏光子とを含む、動物を追い払う装置であって、システムは、動物が追い払われるべき領域の全体にわたって偏光された光を投射するように構成された装置。

【請求項2】

前記偏光子が、前記投射される光の偏光を経時的に変化させるように構成された可変偏光素子である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記可変偏光素子が、回転する偏光フィルタである、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記フィルタが、平面偏光フィルタである、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記フィルタが、1~500サイクル/分の範囲内の速度で回転する、請求項3または4に記載の装置。

【請求項6】

前記フィルタが、1~75サイクル/分の範囲内の速度で回転する、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

前記フィルタの回転の速度が、経時的に変化する、請求項3~6のいずれか一項に記載の装置。

【請求項8】

前記回転の速度が、ランダムに変化する、請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記対象動物が鳥である、請求項1~8のいずれか一項に記載の装置。

【請求項10】

請求項1~9のいずれか一項に記載の装置を2つ以上含む動物追い払いシステム。

【請求項11】

対象動物が検知可能な波長範囲の偏光された光を投射するステップを含む、動物を追い払うための方法。

【請求項 1 2】

前記投射される光の偏光を経時的に変化させるステップを含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

回転する偏光フィルタを用いて、前記偏光を変化させるステップを含む、請求項 1 1 または 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記フィルタが、平面偏光フィルタである、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

1 ~ 5 0 0 サイクル / 分の範囲内の速度で、前記フィルタを回転させるステップを含む、請求項 1 3 または 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

1 ~ 7 5 サイクル / 分の範囲内の速度で、前記フィルタを回転させるステップを含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記フィルタの回転の速度を経時的に変化させるステップを含む、請求項 1 3 ~ 1 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記回転の速度をランダムに変化させるステップを含む、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記対象動物が鳥である、請求項 1 1 ~ 1 8 のいずれか一項に記載の方法。